



平成22年8月5日

各 位

会 社 名 東 洋 紡 績 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 坂 元 龍 三
 (コード番号 3101 東証、大証一部)
 問 合 せ 先 IRグループ長 竹内 郁夫
 (TEL. 06-6348-4210)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成22年5月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円)

1. 平成23年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	167,000	9,000	7,000	2,000	円 銭 2 68
今回修正予想(B)	173,000	10,000	8,500	△ 1,500	△ 2 01
増減額(B-A)	6,000	1,000	1,500	△ 3,500	
増減率(%)	3.6	11.1	21.4	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	154,858	2,999	1,264	△ 551	△ 0 78

2. 平成23年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	340,000	20,000	16,000	5,000	円 銭 6 70
今回修正予想(B)	350,000	22,000	19,000	5,000	6 70
増減額(B-A)	10,000	2,000	3,000	—	
増減率(%)	2.9	10.0	18.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	318,773	11,469	7,441	2,094	2 88

3. 修正の理由

第1四半期においては、デジタル家電分野や自動車分野向けの販売が順調に拡大したことなどから、売上高、営業利益、経常利益は、大きく前年同期実績を上回りましたが、特別損失として投資有価証券評価損を計上したことから、四半期純損失となりました。

この特別損失の影響などにより第2四半期連結累計期間の純損益は、当初の業績予想を下回る見込みですが、液晶・光学用フィルムや電子・自動車部品向けの機能樹脂の出荷が好調を維持しており、環境・安全用途の機能材料やバイオ事業の需要も堅調に推移していることなどから、第2四半期連結累計期間および通期の売上高、営業利益、経常利益は、当初の業績予想を上回る見込みのため、上記の通り修正いたします。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上